

目次

はしがき	3
第一部 始源期	5
その一 方言に目ざめて	5
その二 「松山」方言へ 「広島」方言へ	7
第二部 東條 操先生	11
その一 はじめて先生のお宅に	11
その二 先生のご指導	12
その三 柳田国男先生を	13
第三部 私の瀬戸内海域しらべ<初期事>	15
その一 瀬戸内海島嶼を西から東へ歩いて	15
その二 「語アクセント」しらべ	16
第四部 瀬戸内海をかこむ広境域を	19
その一 語アクセントの調査	19
その二 方言一般に関する調査	21
第五部 瀬戸内海域を憶う	23
第六部 全国深部調査	27
はじめに	27

A	四国地方	29
1	愛媛県喜多郡櫛生村 <small>キシユ</small> に入って。	29
2	徳島県那賀郡平谷村 <small>ヒラダニ</small> 府殿で。	38
3	香川県綾歌郡滝宮村 <small>タキノミヤ</small> で。	50
4	高知県高岡郡浦ノ内村で。	60
B	中国地方	74
1	山口県大津郡通村 <small>カヨイムラ</small> 〔青海島〕へ。	74
2	山口県熊毛郡上関町祝島の方言。	76
3	広島県山県郡八幡村へ。	78
4	岡山県真庭郡湯原町 <small>マニラ ユハラ フサカワ</small> 二川へ。	81
5	岡山県笠岡沖の真鍋島で。	85
6	島根県仁多郡奥の馬木村 <small>マキ</small> で。	87
7	鳥取県八頭郡船岡町大江村で。(栃谷<大江>・下野両部落一 体調査)	91
C	近畿地方	94
1	兵庫県養父郡大屋町 <small>ヤフ オーヤ イカダ</small> 筏へ。	95
2	兵庫県(→淡路島)三原郡灘村 <small>ナダ</small> で。〔沼島も〕	97
3	大阪府南河内郡河内村 <small>カウチ</small> へ。	104
4	和歌山県西牟婁郡中辺路町 <small>ワカヤマケンニシムロクンナカヘチチョークリスガワ</small> 栗栖川で。	106
5	三重県紀州南牟婁郡相野谷村 <small>オノダニ</small> へ。	109
6	三重県鳥羽市国崎町 <small>クサキ</small> へ。	112
7	三重県伊賀名張市 <small>ミエ ナバリ タキアハラ</small> の瀧之原へ。	115

8	奈良県吉野郡川上村上多古 <small>ヨシノ ラニダコ</small> へ。	117
9	京都府(一丹後)与謝郡世屋村 <small>ヨザ</small> にて。	120
10	滋賀県高島郡朽木村市場 <small>クツキムラ</small> へ。	124
D	中部地方	128
1	福井県若狭小浜市堅海 <small>オハマ カツミ</small> へ。	128
2	福井県丹生郡織田町 <small>フクイケンニユウグンオタチョーオタ</small> 織田へ。	133
3	石川県能美郡白峰村で。	135
4	石川県羽咋郡富来町 <small>トギ</small> で。	140
5	富山県射水郡下村三箇 <small>イズミ シモ サンガ</small> で。	142
6	新潟県東頸城郡大島村大島 <small>クビキ</small> へ。	145
7	愛知県渥美郡赤羽根町「赤羽根西」中心の調査。 <small>アツミ アカバナ</small>	149
8	岐阜県郡上郡奥明方村大字畑佐 <small>グジョー オクミヨウガタムラ ハタサ</small> へ。	153
9	長野県(信濃)北安曇郡八坂村宮 <small>アズミ</small> の尾で。 <small>ミヤノオ</small>	157
10	山梨県南巨摩郡 <small>ミナミコマ カジカサワチョージヨウ</small> 鯉沢町十谷で。	159
11	静岡県遠江榛原郡相良町 <small>ハイハラ サガラ</small> 地頭方 <small>チトウガタ</small> で。	168
12	静岡県伊豆半島突端部に注目して。	172
E	関東地方	176
1	神奈川県秦野市堀山下大倉 <small>ハダノ ホリヤマシタオークラ</small> で。	176
2	東京語	180
3	八丈島のことば 小記	187
4	千葉県君津郡天羽町山中の奥畑の上畑へ。	190
5	埼玉県北葛飾郡幸手町 <small>キタカブシカケンサツチ マチオニアサツチ</small> 大字幸手で。	193
6	群馬県勢多郡富士見村田島 <small>グンマケンセタケンラジミムラタジマ</small> へ。	196

7	栃木県那須郡黒磯町大字高林で。	199
8	<small>イバラ キケンキタイバラ キ シイノハラマチ</small> 茨城県北茨城市磯原町「駅中心の集落」で。	202
F	奥羽地方	205
1	<small>フ④ク④シ④マケ④ン ヤ マ グ④ンヤマト マチ④オーアッザイ④チ④ノ キ④アッザホソソソ</small> 福島県耶麻郡山都町大字一ノ木字本村へ。	205
2	<small>カミノヤマ ムジナモリ モトヤシキ</small> 山形県上山市大字狸森小字元屋敷で。	208
3	宮城県宮城郡松島町字磯崎で。	210
4	<small>タザワコ ナガオボナイ</small> 秋田県仙北郡田澤湖町中生保内で。	214
5	<small>イワテ④ケンシモヘー グンイワイズ④ミチョーオーアザカドアマチ</small> 岩手県下閉伊郡岩泉町大字門字町で。	216
6	<small>アオモリケンサンノヘー ダンナンゴームラシマモリ</small> 青森県三戸郡南郷村島守で。	220
7	<small>アオモリケンニシツ ガルダン キツクリマチ</small> 青森県西津軽郡旧木造町で。	223
	九州篇	227
一	私の方言研究の絶対的な恩師東條操先生 ～私に九州方言特域をとらえさせてくださった先生～	227
二	九州方言の大様	229
三	九州各県状況約説	230
1	大分県下	230
2	福岡県下	232
3	佐賀県下	233
4	長崎県下——大村湾岸亀岳	236
5	長崎県下——五島列島南端の福江島	239
6	熊本県下——天草	241
7	熊本県下——白水村	243
8	鹿児島県下	246

9	宮崎県下	247
第七部	方言学思惟	251

第一部 始源期

その一 方言に目ざめて

わたくし。生れは瀬戸内海大三島、その北端集落。——愛媛県越智郡大三島町肥海（ヒガイ）。

今は「町」内になっていますが、もともと、鏡村肥海でした。海づらからはひどく離れた寒村集落。360戸のころ、私は生まれました。

今から思い返し返ししてみても、私がおもしろいと思った最初のことは、

○ナニヤラ カヤラ。イロイロ カイロ。

です。いくつのころだったか、見当もつきません。肥海みなとから、遠い対岸、広島県下の竹原（タキワラ）か忠海（タダノミ）かに行く渡海船の中で、私はこれを言って、一座の人たちにおお笑いされました。

どこでどうおぼえたものか、ともかくこれが、脳中であつたようなのです。私は、人々を笑わそうとして、一発、これをやったらしいのですね。

みんながドッと笑ったので、私はうれしかったです。

郷里弁にはないものを、どこでどうおぼえたのでしょうか。ことばのアクセントが、まったく非肥海のものです。おそらくは、伊予の今治方面から見えていた小学校女先生がたの、小生宅でおっしゃったのをでも聞きおぼえていたのでしょうか。

とすれば、私としては、これが、他方言受入の初事件です。

もう一つ、小児時代（小学校時代以前）に異語を聞きおぼえていた経験があります。